おうちで楽しむ！草津れきし発見隊!!

草津ものしりクイズ

中級編６　回答解説（答え合わせ）

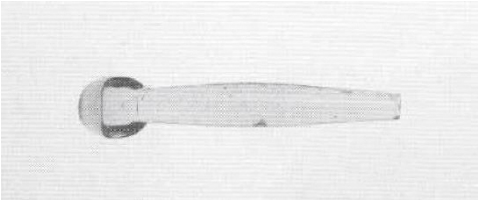
読むのがむずかしいときは、おうちの人といっしょに読んでね。

もんだい１	答えは③の「山崎宗鑑」です。 山崎宗鑑は、草津出身とされる室町時代の文化人で、公家などに親しまれていた格式や形式を重んじる「連歌」から、洒落や滑稽を聞かせた「俳諧連歌」を派生させたことで知られています。俳諧連歌は、そのユーモラス性から一般庶民にも広く親しまれ、江戸時代には俳諧連歌を基に俳句や川柳が生まれました。このことから宗鑑は「俳諧の祖」としても知られています。 宗鑑は京都山崎の地に居を構え様々な人と交流していましたが、晩年は讃岐国（現在の香川県観音寺市）に移り住み、「一夜庵」という庵を構え、この地で生涯を終えました。 この宗鑑で結ばれた縁により、昭和５７年（1982）１０月に草津市と観音寺市は姉妹都市提携を結びました。
こたえ ③	

もんだい２	答えは①の「わかくさ号」です。 わかくさ号は令和３年度現在、市内２５か所を月に１回巡回しており、図書館と同じように本を借りることができます。 また、インターネットで公開している「くさつマップ」において、わかくさ号の巡回ルート等を確認することができます。
こたえ ①	

もんだい３	答えは②の「草津あおばな」です。 草津市の花に定められており、夏に青色の花を咲かせます。 このあおばなのしぼり汁を何回も和紙に塗り重ねてつくられる「青花紙」は、草津の特産品として古くから知られ、その花の摘み取りの様子は、浮世絵にも描かれており、草津の夏の風物詩としても知られました。 ①愛彩菜は草津で採れたわさび菜のことで、草津市の特産にしようと平成１８年から栽培されています。③草津メロンは昭和５７年から栽培が始まり、ＪＡレーク滋賀が栽培から販売までを一括管理しています。３０年を超える栽培技術の積み重ねにより、全国でもトップクラスの糖度を持ち、市内の小学校で学校給食として提供されています。
こたえ ②	

もんだい 4	答えは①の「子どもの疱瘡（天然痘）除け」です。 天然痘は感染症の一種で、現在では撲滅されましたが、種痘と呼ばれる薬が普及するまでは命にかかわる病気であったため、子どもを持つ親にとっては恐ろしい病気のひとつでした。 医学が発達していない時代、この病気は「疱瘡神」という悪い神のしわざであると考えられていたため、疱瘡神が嫌うとされる「赤い色をしたもの」を子どもに持たせたり祀ったりすることで、疱瘡を除けることができると信じられていました。 この猩々は「子どもが疱瘡にかからないよう」「疱瘡にかかっても軽く済むよう」そんな祈りが込められた郷土の風習のひとつです。
こたえ ①	

もんだい 5	答えは①の「簪」です。  草津宿場町遺跡出土：簪
こたえ ①	草津宿場町遺跡からは、このガラス製の簪など、当時の女性の装身具が数点ですが出土しています。 その他にも、酒瓶やぐい呑み、古銭などの当時の人々の生活を表すものが出土しています。 ②石包丁は弥生時代に稲刈りの際に使用した道具、③勾玉は古代の人のアクセサリーです。

【問合せ先】
草津市歴史文化財課　〒525-8588　草津市草津三丁目 13-30
TEL：077-561-2429　FAX：077-561-2488　E-mail：bunkazai@city.kusatsu.lg.jp